

# 図書館通信 号外

2020年11月吉日

お待たせしました。校長先生の本屋さん**川原書店** いよいよ**開店!**

コロナ禍のため、準備中だった川原書店がいよいよ開店致しました。

図書館入ってすぐの本棚です。

今回ご紹介頂いた本は2冊。それに校長先生ご愛用お茶道具6点。中でも籐で編まれた

花入れにさりげなく生けられた白い木香茨（モッコウバラ）は花入れの濃い茶色と合って、本棚中段で光を放っているような佇まいです。

4段の本棚はまさに小宇宙。川原ワールド全開の期間限定特設ステージ。是非御覧ください。



『暗幕のゲルニカ』（原田マハ著 新潮社）

コロナ禍の中、芸術に心癒やされた方も多かったのではないのでしょうか。本書は原田マハさんのピカソとゲルニカをめぐる壮大な物語。

「混沌とした世界を前に立ちすくむ私達に、平和を希求することの強さを感じさせてくれる本」、これは川原先生のお言葉です。この本を推薦なさった先生からのメッセージも掲示しています。ご一読を。

『小原古邨の小宇宙～小さな命のきらめく瞬間～』（小池満紀子著 青月社）

小原古邨（おはら こそん）は明治から昭和に生きた日本画家であり版画家です。その花鳥版画に短歌を添えた美しい作品集です。掲示されている川原先生の「茶道」に対する思いをお読み下さい。この本をお選びになった理由も感じ取れるのではないのでしょうか。茶室における亭主と正客相互の思いやり、この本に溢れているのは画家古邨の対象を見つける優しいまなざしでありましょうか。

川原先生は図書館のコンセプト「読書の木」についてもお言葉を寄せられています。数学者であられたお父様の姿、そして書齋に残された様々なジャンルの膨大な蔵書。これらが川原先生にとっての「読書の木」であるとのこと。数学に対してお父様が語られた「**これほどやさらか**い発想を必要とする**学びはない**」というお言葉は、まさに多様なジャンルへの学びのいざないではないでしょうか。



さあ皆さん！ 川原書店開店で～す。是非お立ち寄り下さい。お待ちしております。

校長先生ご自身の紹介動画も校内のサイネージで配信中！！

在校生以外の皆さん、特に中学3年生の皆さん、

本来でしたら生の鶴高を、皆さん自身の目で見て肌で感じてもらいたところですが、時節柄そうもいきません。こちらとしましても、もどかしい限りです。せめて図書館の様子など写真で御覧ください。





図書館入口です。  
楓の木が柔らかな木陰を作っています。



パソコンコーナー。  
右端が蔵書検索専用です。



入口向かって右手にはせせらぎが  
作られています。  
非常時の消火用水も兼ねています。

新着図書のコーナーです。



カウンターです。司書さんが毎日来てく  
れています。  
本についての相談にも乗ってくれます。

最新雑誌コーナー



新聞コーナーです。



先生方のオススメ本のコーナー  
です。  
それに3名の司書の方々のオス  
ススメ本です。

図書館の奥の本棚。奥が深い。



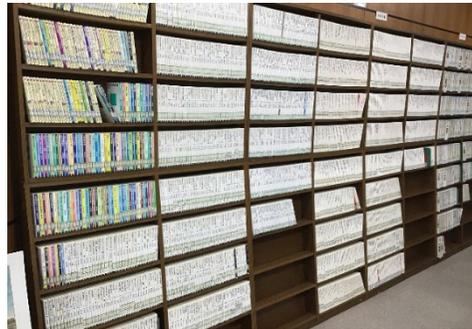
2階学習机 個人用机と大型机



2階雑誌 バックナンバー

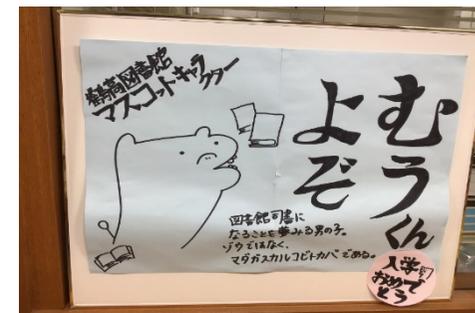


新書本コーナーそして文庫本コーナー。



以上、図書館の各コーナーを御覧いただきました。

絵本・漫画コーナー



受験生の皆さん、コロナに負けず  
頑張ってください。  
鶴高は皆さんを応援しています。

最後に本校図書館のマスコットよむぞうくんです。ぞうではありません。